2025年7月8日

各　位

会　　社　　名　　株式会社ダイセキ
代表者の役職・氏名　　代表取締役社長　山本　哲也
（コード番号9793　東証プライム・名証プレミア）
問い合わせ先　　常務執行役員企画管理本部長　片瀬　秀樹
（電話番号　052-728-1155）

2025年度愛知県循環型社会形成推進事業補助金に採択されました

株式会社ダイセキと日本エンジン株式会社（所在地 愛知県稲沢市 代表取締役社長 髙橋 剛）が共同で検討している廃食用油バイオディーゼル燃料（以下、ＢＤＦ）の自動車利用促進に向けた実証実験と事業体制の構築への取組について、2024年度につづき、2025年度愛知県循環型社会形成推進事業に採択されました。

１．循環型社会形成推進事業補助金制度とは

愛知県では、循環型社会の形成を促進するため、産業廃棄物税を活用して先導的で効果的なリサイクル関係設備等の整備及び循環ビジネスの事業化検討に要する費用の一部を補助する制度を設けています。

２．事業の概要

本事業は、株式会社ダイセキ工場内で使用する重機へのＢＤＦ使用による温室効果ガス（ＣＯ２）削減に向けた実証実験を核としています。昨年度からの取組みでは、ＢＤＦ使用に伴う重機の故障や不具合発生に備え、日本エンジン株式会社がエンジンメンテナンス・サービスおよびデータ取得・分析を担当。これにより重機エンジンの再利用及び長寿命化によるサーキュラーエコノミーへの貢献と、ＢＤＦ使用によるカーボンニュートラルを同時に推進する新しい事業体制の構築を目指してきました。

今年度は、この実証実験の継続に加え、ＢＤＦ利用に関する市場ニーズ調査の実施に加え、ＢＤＦメーカー、建機メーカー、メンテナンス会社、リース会社の各社の役割をパッケージ化するビジネスモデルの構築に着手いたします。市場ニーズを深く把握することで、ＢＤＦのさらなる普及に向けた戦略を策定し、より実用的な運用モデルを確立することで、循環型社会への貢献を一層強化してまいります。

なお、本事業で使用するＢＤＦは、株式会社ダイセキ環境ソリューションが、製造時のＣＯ２の排出量を蒸留法と比較して大幅に削減（８５％減）した分離膜を使用したものになります。　ＢＤＦの使用により、軽油１Ｌ当たり２．６ｋｇのＣＯ２の排出量削減に貢献します。

株式会社ダイセキと日本エンジン株式会社は、今回の採択を機に、食用油ＢＤＦの利用促進を通じて、愛知県の地産地消の循環型社会形成に一層貢献してまいります。

以上